

## 問 電力の逼迫<sup>ひっばく</sup>に対して

温暖化による猛暑のなか、ウクライナでの戦争もありLNG<sup>\*</sup>や石油の入手が困難となり電力が逼迫した。小中学校には空調が設置されているが十分に利用できているのか。電力逼迫を気にせず利用できるように太陽光パネルを設置し地産地消を進めたらどうか。

\*LNG…液化天然ガス

## 答 施設改修時に太陽光パネルを検討する

良好な教育環境を保つためには、安定した電力の確保が必要である。小学校2校で太陽光パネルを設置しているが、導入費用を回収するには時間を要し、設備設置の課題となっている。今後の学校施設の改修や改築に合わせ設置について検討していく。



齋藤信治 議員  
(WAKABA)

## 問 保育の質の向上を

保育は、質の向上を考える段階となった。今まで、保育サービスを受けられなかった『医療的ケア児』。就業時間の都合で、開所時間に間に合わない方。病気や冠婚葬祭などで、休日保育や一時保育が必要な方などへの保育サービスの提供を考える時ではないか。

## 答 多様な保育について協議を進める

これまで医療的ケア児の保育所入所に関する相談は寄せられていないが、個々の事例に応じ、関係機関と連携体制の構築に努める。

多様な保育のありかたと量の課題には、待機児童の解消を最優先としつつ、公私立保育所の共通課題として、協議を行っていく。



## 問 投票環境向上の取組を

誰もが気持ち良く選挙ができるように、その人の特性に応じた対応が必要であるが、高齢や障がいにより、投票に困難を伴う方への配慮はどのようになっているか。また、行政区の集会所を投票所としてお借りしている会場でバリアフリー化を検討できないか伺う。

## 答 誰もが投票しやすい環境を確保していく

各投票所では、点字器等の備品を備え、高齢者や障がいをお持ちの方が投票しやすいよう、投票環境の向上に努めている。施設の改修等を選挙管理委員会が行うことは難しいが、誰もが投票しやすい環境を構築するため、行政区への相談を含め、検討していく。



中山廣子 議員  
(公明党)

## 問 子育て世代に寄り添う取組を

「ベビーベッド貸出事業」を利用する条件は、市内に住所を有し、0歳児を養育する保護者に限られるが、里帰り出産をする方を「関係人口」と捉え、貸出を拡充できないか。また、本庁舎1階に、待ち時間に利用できるキッズコーナーの設置ができないか伺う。

## 答 貸出の拡充の検討と設置の調整をする

ベビーベッド貸出事業拡充は、市の子育て世代を広く支援する姿勢をアピールし、イメージアップが定住を促すことにもつながるので、条件の整備等を検討する。また、キッズコーナーは、子どもが安全に楽しく過ごせることは大切なので、関係課等と調整する。

